

## 十字架のことば 1コリント 1:18-25

2026. 7. 5、丘の上、NO. 777  
春日部福音自由教会 山田豊

先週木曜日の祈り会の後、ランチはギリシャ BBQ でした。あいにくの空模様で、ギリシャのような澄み切った青空のもとでというわけにはいきませんでした。しかし指導してくださる方も我々も初めてにもかかわらず、大変おいしく料理をいただき、楽しい時を過ごすことができました。

本日は、紀元1世紀のギリシャ、ローマ世界を旅したパウロの言葉に耳を傾けてまいりましょう。ひょっとすると、パウロも同じようなものを食べたのかもしれませんがね。

伝道者パウロは、自身が到達した確信をこのように記しています。

「私たちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えます。」(23 節)

「なぜなら私は、あなたがたの間で、イエス・キリスト、しかも十字架につけられたキリストのほかには、何も知るまいと決心していたからです。」(2:2)

このような決心に到った理由は、コリントに来る前のアテネでの宣教の経験があったからではないでしょうか。この時のパウロの心境は、「弱く、恐れおののいていました。」(2:3)でした。アテネでの宣教の結果は、彼が期待するほど多くの実を結ばなかったようです(使徒 17:32-35)。また、テモテとシラスをペレヤに残してきたので、協力してくれる者のない孤独感を持っていたのかもしれませんが(使徒 17:14-15)。アテネという優れた文化を持つ街でどんなに人間の知恵を用いて語っても、それは人を救う力のないことを知らされたのでした。人を生かすのは十字架のことば、すなわち福音である。ならば自分は愚直に十字架のことばをのべ伝えよう、と決心を新たにしたのです。

十字架は、もともと人を処刑する木で作られた道具です。そこにつけられる者は、神に呪われた者であるとユダヤ人は信じていました(申命記 21:23)。また、ギリシャ人にとっては、彼らの知的レベルからしたら、愚かなことだったのです。すなわち、生まれながらの人にとっては、福音は信じるに値するものではないものだったのです。

しかしこの福音にこそ、神の力が秘められているのです。イエスを信じるものは罪が赦され、神の子として生かされ、聖霊によって力強く導かれる道が開かれるのです。それは、この私にも起きたことでした。十字架のことばは、苦難の中にある私たちに慰めを与える、神のことばでもあるのです。

引用聖句

使徒 17:32-33 死者の復活のことを聞くと、ある人たちはあざ笑ったが、ほかの人たちは「そのことについては、もう一度聞くことにしよう」と言った。こうして、パウロは彼らの中から出て行った。

使徒 17:14-15 そこで兄弟たちは、すぐにパウロを送り出して海岸まで行かせたが、シラスとテモテはベレアにとどまった。8う7yc15 パウロを案内した人たちは、彼をアテネまで連れて行った。そして、できるだけ早く彼のところに来るようという、シラスとテモテに対する指示を受けて、その人たちは帰途についた。

ルカ 23:35-37 民衆は立って眺めていた。議員たちもあざ笑って言った。「あれは他人を救った。もし神のキリストで、選ばれた者なら、自分を救ったらよい。36 兵士たちも近くに来て、酸いぶどう酒を差し出し、37 「おまえがユダヤ人の王なら、自分を救ってみろ」と言ってイエスを嘲った。

39 十字架にかけられていた犯罪人の一人は、イエスをののしり、「おまえはキリストではないか。自分とおれたちを救え」と言った。

43 イエスは彼に言われた。「まことに、あなたに言います。あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます。」

申命記 21:23 その死体を次の日まで木に残しておいてはならない。その日のうちに必ず埋葬しなければならない。木にかけられた者は神にのろわれた者だからである。あなたの神、【主】が相続地としてあなたに与えようとしておられる土地を汚してはならない。

箴言 3:5-6 心を尽くして【主】に拠り頼め。自分の悟りに頼るな。6 あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主があなたの進む道をまっすぐにされる。

第3版 心を尽くして【主】に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。6 あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。